

# ひとり1改革運動

## 「仕事のやり方を見直そう」改革賞

日本語のレベルに合わせた就職ミニセミナーの開催

【西部県民生活センター】



西部地域に多く居住する日系外国人の支援のため、ポルトガル語通訳を配置し、就職相談のほか、毎月1回の就職セミナーを開催してきました。しかしながら、毎月1回多人数を対象にするセミナーでは、参加者の日本語レベルに差があるため、一般的な研修にならざるを得ず、受講者からは、内容がつまらない又は、理解できないなどの意見がありました。これに対処するため、毎週2回、少人数(概ね5名程度)のミニセミナーを開催することにしました。その結果、各自の日本語のレベルに応じたきめ細やかなセミナーを実現できるようになりました。

【履歴書見本】

| 年     | Ano | 月 | Mês | 職歴                               | Histórico de Trabalho |
|-------|-----|---|-----|----------------------------------|-----------------------|
|       |     |   |     | (ブラジル) 4ねん                       |                       |
| 1968  |     |   |     | しよるい うんぱん(1ねん) ようふく ほんばい(3ねん)    |                       |
|       |     |   |     | (にほん) 9ねん                        |                       |
| 1973  |     |   |     | NCきかい オペレーター(3ねん) せんぱんかこう(2ねん)   |                       |
|       |     |   |     | オートバイラインくみたて(3ねん)とそう ハンガーかけ(1ねん) |                       |
| 1973~ |     |   |     | 〇〇〇〇かぶしき かいしゃ NCオペレーター 3ねん       |                       |

志望動機 (O que o motivou a se candidatar neste trabalho)

(しんりん、くみあいの、けいけんのないしごとにもうとうき) わたしは にほんで10ねん、せいぞうの しごとを けいけんしました。そのなかで 5Sでせいり、せいとん、かたづけ がとくに なりました。きかい どうぐのメンテナンスも じぶんで できることは おこないました。そのけいけんを しごとに いかして がんばりたいとおもいます。(かこ、げんざい、みらい をひょうげんする)

### 取組で工夫した点は？

- ・多人数を対象にするセミナーでは会場を借りて使用していましたが、場所をヤングジョブステーション内スペースに変更して、使用料を節約しました。
- ・これまでは日付入りチラシを年に数回作成していましたが、曜日を固定したため年間を通じて使えるチラシに変更し、広報にかかる労力を減らしました。

### 取組の効果として実感している点は？

- ・労働や消費相談などのサービス提供もしやすくなりました。
- ・受講者にとってセミナー参加が日本語学習の成果を就職用に活用する機会になるとともに、日本語の習熟度を具体的に経験することで、就職のための更なる日本語学習意欲の刺激にもなっています。



【セミナー風景】

### 静岡県立大学 金川教授から一言

多文化共生、社会的包摂といった理念を実現するために重要な取り組みであると評価できる。今後は、就職相談だけでなく、在留外国人がワンストップサービスを受けられるよう、分野横断的、NPOや企業との協働といったセクター横断的な取り組みがより一層求められます。

# ひとり1改革運動

## 「仕事のやり方を見直そう」改革賞

「メルマガ」方式で情報を共有

【交通基盤部 森林保全課】



出先事務所への情報は、それぞれ事務連絡の文書を付けて送付していました。また、内部で検討している内容は、ある程度、取組がまとまった時点で情報提供していました。

しかし、情報が遅れ気味になったり、本課で考えていることが出先事務所に伝わるのが遅れたりして事業を推進する上でうまくいかないこともありました。

そこで、一定期間(2週間～1ヶ月分)の情報を「治山通信」としてまとめ、メールマガジン形式により、出先事務所に情報提供することにより、手間の削減と情報の共有化を実現しました。

### 取組の効果として実感していることは？

- ・バラバラに情報提供していたものを一括にしたことにより、見るほうも一回で確認できるので情報提供に係る手間が削減できました。
- ・わざわざ文書を出す必要があるかなと考えられるような内容のものでも、軽い気持ちで出先事務所に情報提供できるようになり、その後の事業の推進がスムーズにいく部分が増えました。

### 治山通信

平成23年4月22日  
森林保全課 治山班

- ① 工事の早期発注について  
補助分の補助金の交付決定の通知が平成23年4月13日付けでありました。各事務所においては、早期発注をお願いします。
- ② 会計実地検査の準備について  
各事務所準備を進めていただいていると思いますが、流量計算や安定計算の係数の根拠など整理し、質問に対して的確に答えられるよう準備をお願いします。
- ③ 安全管理の徹底について  
年度当初のあわただしい時期ですが、工事における安全管理の徹底をお願いします。  
なお、もし事故が発生した場合は、速やかに森林保全課へ連絡するとともに、業者には、けが人の病院への搬送手続きの後、労基署、警察へ報告するよう指導願います。  
また、この時期は、山菜採りに入る人も増えると思いますので第3者に対する安全にも十分注意するよう指導してください。

【治山通信】

### 今後に向けてさらなる取組は？

- ・なるべく定期的に情報提供をするように努めています。
- ・本課から出先事務所への情報提供だけでなく、出先事務所から本課への情報提供の仕組みについても考えています。

### 静岡文化芸術大学 田中教授から一言

事務的な連絡文書の送付から「治山通信」というメールマガジンの発行に切り替えることにより、迅速な情報発信や出先事務所との情報共有という目的が達成されています（しかも追加的なコストほとんど無しで）。伝えるべきことを確実に伝えることができるのであれば、従来の形式や方法にこだわる必要はないことを示してくれる事例です。広く庁内で参考にして頂きたいと思います。

# ひとり1改革運動

## 「仕事のやり方を見直そう」改革賞

### 判定期間の短縮化

【東部健康福祉センター 相談判定課】



補装具費及び自立支援医療(更生医療)の判定において、市町から判定依頼を受け、判定結果を通知するまで、約2~3週間の時間が必要で、市町や申請者から判定期間の短縮を求める意見がありました。

各工程を検証したところ、嘱託医の医学的審査(書類審査)の実施まで、数日から数週間の空白期間が生じていました。

そこで、嘱託医や医療機関と協議し、審査をこれまでの約2週間間隔の不定期の実施から、毎週、定期的(原則、水曜日)に実施することとし、支給決定が迅速にできるようになりました。

### 取組で苦労した点は？

- ・東部地区では中部、西部地区と比較し、審査件数が多く(約3倍)、嘱託医の通常勤務も多忙のため、審査時間の確保が難しいことが考えられました。嘱託医や医療機関に現状や課題を丁寧に説明し、多忙な勤務の中で、毎週の審査時間の確保を実現できました。
- ・嘱託医の負担の増加を懸念しましたが、1回当たりの審査量が減少し、日程調整も容易になったことから、当初の想定と比べて、負担はほとんど増加していません。

### 今後に向けてさらなる取組は？

- ・今後も市町、医療機関等と連携し、互いに情報を共有し、さらなるサービス向上の方法を模索していきます。



【審査状況】

### 静岡大学 日詰教授から一言

補装具費や更生医療費の支給決定に際し、嘱託医の書類審査を2週間間隔から毎週実施することにより、審査の迅速化が図られたことは大いに評価できる。特に、嘱託医や医療機関との協議は多少とも難しさがあったことと思うが、それを克服して協力体制を構築できたことは、今後の双方の関係性強化にも良い効果が及ぶものと思われる。

# ひとり1改革運動

## 「仕事のやり方を見直そう」改革賞

改正法令情報の一元共有化(紙、電子)と課メールボックスの容量削減の同時実施

【人事委員会事務局 給与課】



国から課メールに送信される改正法令情報は、担当をいかに明確にし、迅速に処理を行うかが課題となっており、また、メールの添付ファイルは課メールの容量を圧迫しがちでした。

一方、これらの紙ファイルへ保存する方法も統一されておらず、過去の改正情報を簡易に検索することも課題となっていました。

そこで、一元保存するルールを設け、後からの検索を容易にするとともに、処理後のメールは添付ファイルを削除することとし、これらの処理方法を、課内要領でマニュアル化しました。

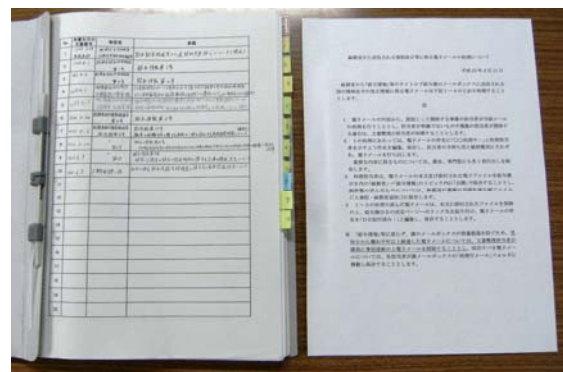
その結果、情報の一元化と課メールボックスの容量削減を同時に実現しました。

### 取組の効果として実感している点は？

- ・電子メールの処理については課員がお互いに良く声を掛け合うようになり、各電子メールの平均的な処理時間が数時間以上のレベルで短縮されていることを実感しています。
- ・また、当課で例年改正する規則等の改正件数は50件以上になりますが、その際に必ず必要となる関連する国の改正法令情報の検索に要する時間も、1件あたり平均10分以上の大幅な短縮に繋がることを見込んでいます。

### 今後に向けてさらなる取組は？

- ・改正法令情報を受けての規則改正作業自体においても、所属内で意見や問題点を共有し、改善策を図っていきたいと考えています。



【一元保存ファイルと課内要領】

### 静岡産業大学 松本教授から一言

本件は、基礎的情報の管理が、地道ではあるが非常に重要な仕事であることをあらためて認識させてくれます。

また、本件の取組を通じて人や組織が育っていることも感じさせる好例です。

# ひとり1改革運動

## 「仕事のやり方を見直そう」改革賞

### プロジェクト「TOUKAI-0」担当者会議の改善

【くらし・環境部 建築安全推進課】



『TOUKAI-0』の普及は、実際に事業を行う市町の担当者に制度をよく理解してもらいつつ、その声を吸い上げていくことが、制度普及のカギですが、これまでの担当者会議は全市町、土木事務所の担当者を県庁に集め、会議当日に資料を配布し、県から一方的に制度概要の説明や連絡事項を伝えるものでした。

そのため、東・中・西・伊豆の4地区に分けるコンパクトな形式の会議とし、事前の資料提供及びアンケートの送付を行いました。

その結果、参加者から活発な意見や質問を聴取することが出来、有意義な会議が実施できました。

#### 取組の効果として実感している点は？

・市町への調査の結果、昨年度より広報啓発活動が充実化しており、今回の改善により市町との連携が進んでいることが示されました。



【担当者会議の様子】

#### 今後に向けてさらなる取組は？

・本事業の目的である「1人でも多くの県民の命を守るため、住宅の耐震化を促進する」に向けて、行政だけでなく、民間団体との更なる連携・協働が必要と考えています。  
・そのため、民間団体との検討会を実施すべく、現在調整を行っています。

#### 明治大学 北大路教授から一言

過去10年、実績は着実に伸びているものの、遅れている高齢者世帯での耐震化の推進など、さらなる成果を追求するためにマーケティング機能の拡充に取り組んだ事例です。これにより、現場のサービス供給を担当する機関との協働活動の質を高め、顧客ニーズへの対応力を向上させることに成功しています。

2024年 TOUKAI-0

### 「自分の命は自分で守る」 今こそ耐震補強を!

耐震診断は無料。設計や耐震補強には補助金が出ます。

